

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 2004 年 5 月 12 日作成 )

委員会名	教育施設小委員会	主 査 名：吉村 彰
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	幼・小・中学校から生涯学習施設におよぶ教育施設を対象に、計画・研究の将来の動向や現状について多角的な討論ができる場を設定することである。具体的にはタイムリーな課題を設定し、研究会・シンポジウム、優れた教育施設やプロジェクトを素材とする見学会・事例研究会を開催し、広く会員が参加できる場を企画する。	
委員構成 (委員名(所属))	吉村彰(東京電機大) 諸貫幹夫(巴コーポレーション) 柳澤要(千葉大学) 寺嶋修康(アルコム) 宮本文人(東工大) 飯島祥二(NUK 建築計画事務所) 石川恒夫(前橋工科大) 伊藤俊介(東京電機大) 倉斗綾子(コクヨ) 小林千穂子(東京電機大) 鈴木賢一(名古屋市立大) 長澤悟(東洋大) 堀井啓幸(富山大) 屋敷和佳(国立教育政策研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	シンポジウムに向けての資料収集、新しい教育施設計画事例の収集、教育施設に関する研究の収集を行う。またこれまで製作したデータベース化の継続を行うため、大学院生や若手設計者も入れたワーキンググループを組織する。	
2003 年度予算	185,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4/23 見学会 志木小学校 参加者：約 50 名 6/25 報告会「ヨーロッパの学校建築報告」柳澤 参加者：約 30 名 7/31 研究会「学校の改修・機能転用」吉村他 参加者：約 30 名 10/8 研究会「学校コンペの応募案分析」寺嶋他 参加者：約 20 名 12/13 シンポジウム「これからの学校のリニューアルの在り方」参加者：90 名 2/13 研究会「来年度計画立案」 参加者：約 10 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)  研究会やシンポジウムの主なるテーマは「学校の改修・機能転用」で、事例見学や情報交換のための研究会によって、委員相互の理解が深まった。また 12 月に同テーマで開催したシンポジウムには、委員以外に建築関係者、教育関係者など 100 名近い大勢の参加者があり、見学会と含めて、これまでの成果を踏まえた上での効果的な情報発信・議論の場となった。この内容に関しては雑誌「スクールアメニティ」3 月号にも特集として掲載され、当日の参加者以外への情報公開となった。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  11 月に予定していた事例見学会が中止になるなど、予定していたすべての計画をこなせなかった点もあるが、大成功を収めたシンポジウムなど、ほぼ当初目標とした成果は得られた。
その他評価すべき事項	特になし。